

# 農業の新しい技術

No.595 (平成20年 7月)  
分類コード 01 - 14  
熊本県農林水産部

## 褐毛和種種雄牛「第二弦光」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室  
担当者：地内正嗣

### 研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力間接検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

### 研究の成果

1.産肉能力がバランス良く優れた褐毛和種種雄牛「第二弦光」を選抜した。

#### 血統

父	第四光重(高82)	祖父	光重 ET(育高1)
母	第二たつみや (育高435)	祖母	ひさつる (育高275)
		祖父	第三光丸(高71)
		祖母	たつみや(育高10)

登録番号 :繁殖 124

生年月日 :平成 14年 5月 13日

生産地 :阿蘇郡南阿蘇村

2.間接検定成績および育種価

1日当たり増体量(DG)は0.98kgで、基幹種雄牛の間接検定成績平均値1.05kg(以下基幹種雄牛平均)より低い成績である。

枝肉重量は、430.1kgと基幹種雄牛平均429.0kgと同程度で、また育種価\*(BV、以下同様とする)は+11.73kg(評価451頭中97位)である。

脂肪交雑は3.19と歴代1位タイで、BVも+1.9(評価種雄牛451頭中22位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

ロース芯面積は50.3cm<sup>2</sup>で、基幹種雄牛平均49.1cm<sup>2</sup>と同程度である。

\* 育種値(BV)は、産子のフィールト成績や血統情報等を用いて、後代が父牛の遺伝的影響でどれだけ改良されるかを予測した数値。



第二弦光

表1 産肉能力間接検定成績 (発育成績および飼料摂取量)

月 齢		体 高		体 重		1日当 り増体 量 (kg)	1kg増体当 たり TDN DCP	
開始時 (月)	終了時 (月)	開始時 (cm)	終了時 (cm)	開始時 (kg)	終了時 (kg)		(kg)	(kg)
10.7	21.5	120.6	140.2	361.0	683.4	0.98	6.81	0.91

表2 産肉能力間接検定成績 (枝肉成績)

枝肉重量 (kg)	脂肪交雑	ロース 芯面積 (cm <sup>2</sup> )	ばらの厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)
430.1 (429.0)	3.19 (2.5)	50.3 (49.1)	6.9 (6.9)	2.1 (2.7)

\* 表中下段( )内の数値は現有基幹種雄牛11頭の平均値

表3 フィールド成績等から推定した育種値(BV)

種雄牛名	後代牛数	1日当 り増 体量	枝肉重量	BMSNO . (脂肪交雑)	ロース 芯面積	ばらの 厚さ	皮下脂肪 の厚さ
第二弦光	27	0.030	11.73	1.90	-0.02	-0.25	-0.65
順 位		124	97	22	268	370	25
評価種雄牛数		451	451	451	451	451	451